



OCFC NEWS

2001年2月1日号

Vol. 5

大川こども&内科クリニック

インフルエンザ特効薬解禁

昨年より待望されたインフルエンザの特効薬の使用がようやく許可されました。

従来はインフルエンザAウイルスにのみ有効なシンメトリルが唯一の治療薬でした。シンメトリルは従来パーキンソン病の治療薬でしたが、インフルエンザAウイルスにも有効であることが判明して使われている薬剤で、また耐性を獲得しやすい(薬が効かなくなる)ともいわれております。今回新たに市販されるのはリレンザという経口吸入剤です。インフルエンザにはA、Bがありますがこの両方に有効です。この薬は現在保険適応がないので自費診療となります。診察料・処方薬料として3,500円、薬代として4,000円前後かかると思います。インフルエンザウイルスは鼻腔・咽頭に侵入し

て増殖し、全身に広がる病気ですが、この薬剤は吸入することにより局所でのウイルスの増殖を防ぐ薬(ウイルスが感染した細胞から健康な細胞にうつることを妨げる)で、1日2回5日間吸入します。従って病初期であるほど有効で、初期にはじめますと3日程度罹病期間を短縮するといわれています。吸入薬なので幼児などの年少児には使用が困難ですが、受験生、老人には有効でしょう。またインフルエンザの患者さんに接触した後の発病予防にも有効です。2月頃には保険適応となるかもしれません。またタミフルという経口カプセル剤も近く市販されそうです。この薬もカプセルということから幼児より若い世代には投与が困難でしょう。いずれも医師による診断と処方薬が必要です。

スギ花粉症の季節はじまる。

— 先んずれば花粉症を制す —

今年もそろそろ花粉症の季節となります。今年は昨年が暑かったことから2年連続の大量花粉飛散が予想されております。関東南部は2月初旬頃より花粉の襲来を受けそうです。いったん上昇した花粉に対する過敏性を低下させる

のは困難であり、花粉症は治療よりも予防が有効で早めの対処が必要です。予防薬によっては効果発現まで2週間くらいかかるものもあります。OCFCでは日本アレルギー学会、鼻アレルギー診療ガイドラインに沿って治療を行なっております。